

請 願 一 覧 表

[令和5年第5回高梁市議会（定例）]

請願第2号

受理年月日	件 名	請 願 者	紹介議員
R5. 8. 22	少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の請願について	高梁市片原町8 岡山県教職員組合高梁支部 支部長 清水 潤	宮田 好夫



請 願 書

令和 5 年 請願 第 2 号
陳情
令和 5 年 8 月 22 日 受付

2023 年 8 月 22 日

高梁市議会議長
石田 芳生様

紹介議員

宮田 好夫 (印)

請 願 者

住所 高梁市片原町 8

氏名 岡山県教職員組合 高梁支部

支部長 清水 潤 (印)



少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2024 年度政府予算に係る意見書採
択の請願について

<請願趣旨・理由>

2021 年 3 月 31 日に改正義務標準法が成立し、小学校の学級編制標準が学年進行により段階的に一律 35 人に引き下げられています。高梁市においては、市独自の政策として小学校 30 人以下、中学校 35 人以下の学級編成がされていますが、中学校・高等学校の学級編制標準は現在のまま据え置かれています。さらにきめ細かな教育をするためには 30 人学級や中学校・高等学校での少人数学級の早期実施が必要です。少人数学級や教職員定数の改善については、2022 年 7 月に全国知事会も「誰ひとり取り残さない社会を目指した提言」において、小中学校等における少人数によるきめ細かな指導体制の構築や児童生徒支援の強化等に向けた教職員定数の更なる拡充を図ることが重要としています。

しかし、35 人学級実施に要する教職員の定員増の多くが、児童数減少に伴う自然減等によって相殺されるため、実際に今年度についても前年度よりは教職員定数が減少しています。その一方で、学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しています。さらに、GIGA スクール構想による一人一台端末を活用した新たな学びの創造を求められるなど、教材研究や授業準備の時間、子どもたちとむき合う時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学級とは、学校が教育的配慮のもとに組織する児童生徒の集団であり、その規模は児童生徒にとって基本的な教育条件のひとつです。また、担任する児童生徒の多寡は教員にとって労働条件のひとつであり、労働条件の良否は児童生徒の教育条件に少なからず影響を及ぼしています。

子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

こうした観点から、2024 年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう、地方自治法第 99 条の規定にもとづき国の関係機関への意見書提出を請願いたします。

記

1. 中学校・高等学校での 35 人学級を早急に実施すること。また、30 人学級等さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る学級編制基準の弾力的運用ができるよう、少人数学級実施のための加配を削減しないこと。
4. 必要な新規採用者数を確保するとともに、教職員が意欲をもって働くことができるよう、教職員の処遇改善に必要な財政措置を講じること。